

(別紙1)

## 令和8年度食育推進支援セミナー(Web) 日程・内容表

下記のセミナーを当給食会ホームページのセミナー専用ページにてWeb研修(YouTube動画配信)で開催いたします。セミナー専用ページのログイン方法、パスワード等は、申込フォームに入力されたアドレス宛てにメールでご案内いたします。申込された研修について、下記日程に沿って配信期間内に各自で資料を印刷し、研修動画を視聴して受講してください。

○主な対象者：管理職・一般教職員・養護教諭・栄養教諭・学校栄養職員・教育委員会関係者

○動画配信期間及びアンケート締切日について

	受講期間	アンケート回答締切
1回目	令和8年6月26日(金)～令和8年9月4日(金)	令和8年9月4日(金)
2回目	令和8年10月9日(金)～令和9年1月8日(金)	令和9年1月8日(金)
各研修受講後、受講アンケート回答		

(A) 児童・生徒の食に関する課題の対処方法について 全2コマ

講師 中岡 和代 氏 (大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 講師)

コンセプト(学校生活における児童・生徒のさまざまな課題について、作業療法士の視点による評価や指導方法の研修)

研修内容	
1回目	①神経発達症のこどもたちの理解と支援 自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、発達性協調運動症等について触れ、食に関する課題の背景や支援についてお話しします。
2回目	②食に関する課題のある児童生徒の理解と支援 食に関する課題のある児童生徒について複数の事例をご紹介しますながら評価と支援についてお話しします。

(B) 学校現場で生かす臨床心理学2026 全3コマ

講師 畑中 千紘 氏 (京都大学大学院 教育学研究科 准教授)

コンセプト(臨床心理士による臨床心理学的視点からの児童・生徒の個別指導と保護者対応における研修)

研修内容	
1回目	①現代の子どものこころを理解する (1) 愛着をめぐる問題の基礎 昨今の学校現場で「愛着障害」「育ちの問題」というワードが聞かれることが非常に多くなってきたと感じます。特に食をめぐる課題は愛着に結びつけられることも多いでしょう。この研修ではそもそも愛着とは何かを基礎的なところから学びつつ、今、なぜ愛着の問題が学校で注目されているのかについて考えたいと思います。
	②現代の子どものこころを理解する (2) 愛着をめぐる問題とその現れ ①の研修で学んだ基礎的なことを踏まえ、今の学校現場で出会いやすいケースについて具体例をあげながら考えてみたいと思います。ご参加の先生方のアンケートも踏まえて実践的な検討を行います。
2回目	③食育と個別指導 栄養教諭にも個別指導が求められるようになり、多くの先生がそれに取り組もうと奮闘されていますが、難しさを感じているという声も多く聞かれます。昨年に引き続き、個別の関わりを専門とする臨床心理学の知見についてお話しし、個別指導のあり方について考えます。

(C) エビデンスに基づき人を動かす手法 全2コマ

講師 竹林 正樹 氏 (青森大学 客員教授)

コンセプト(食育推進基本計画で推奨されている行動促進手法「ナッジ」を理解し、実践できるようになるための研修)

研修内容	
1回目	①なぜあの人は行動しない？ 多くの研究から、頭では食の大切さがわかっていても望ましい食行動がとれない人の背景にある認知バイアスの存在がわかってきました。それに呼応したナッジを設計することによる行動促進のメカニズムを考えていきます。
2回目	②ナッジで自発的に動かす 国内外のナッジの実践例を紹介し、各場面でナッジを応用した行動促進策を考えていきます。

※申込は(A)・(B)・(C)重複しての受講も可能です。

※研修は、配信期間内に必ず視聴してください。

各回の研修期間終了までにアンケート(Googleフォーム)が未回答の場合は給食会から連絡を入れさせていただきますのでご了承ください。

※ICTを活用した食育支援セミナーの申込は9月頃の予定です。